資料２

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

江別市地域公共交通計画の評価等結果（令和６年４月～令和７年３月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
路線バス輸送人員（市内路線） ・356 千人/年（R3）→520 千人/年（R10） 路線バス輸送人員（市外路線） ・2,637 千人/年（R3）→3,500 千人/年（R10）	公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化	事業者からの提供データ	・市内路線：479 千人/年（R6） ・市外路線：2,956 千人/年（R6） →コロナ禍で減少していた輸送人員は、回復傾向となっている。	・バス事業者によるダイヤ改正や、鉄道主要駅での路線バスの情報提供（統合時刻表の掲示・バス路線マップの配架等）により、乗り継ぎの改善と情報の充実化を図った。 ・引き続き、各種施策の推進により利用促進を図り、公共交通ネットワークの確保・維持に努める。	
バス路線数（系統数） ・29系統（R3）→29系統（R10）		事業者からの提供データ	・27系統（R6） →昨年度の系統数を維持している。		
交通環境に満足している市民割合 ・57.2％（R3）→69.0％（R10）	公共交通に関する基本情報の整理及び提供 関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善	市民アンケート調査	・59.7％（R6） →満足している市民割合は、各種施策の実施により、R3実績値から2.5ポイント上昇している。	・バス路線マップ及び路線バス乗り方ガイドの更新・発行、広報紙や市HP等を活用した情報発信を行った。 ・大雪時の除排雪に際し土木事務所やバス事業者と連携を図った。 ・事業主体でチラシを作成し、デマンド型交通の周知を図った。 ・引き続き、関係機関等との連携強化及び各種情報発信に努める。	
デマンド型交通の会員登録者数 ・111人（R3）→120人（R10）		事業者からの提供データ（江北地区・豊幌地区の合計）	・151人（R6） →事業の周知等により、会員数は増加している。		
啓発事業の実施回数 ・1回（R3）→2回（R10）	モビリティ・マネジメントの推進	市実績等（出前講座・イベント参加等の回数）	・2回（R6） →市内高校生を対象に出前講座を実施した。また、小学生を対象としたイベント「ミニさっぽろ」に参加した。	・出前講座の開催、広報紙の活用、転入者へのバス路線マップの配布等により啓発を行った。 ・引き続き、各種施策の推進により啓発等に努める。	
広報紙等への掲載回数 ・1回（R3）→1回（R10）		市実績等	・1回（R6） →広報えべつ12月号に特集記事を掲載した。		
市補助路線の収支率 ・61.2％（R3）→70.0％（R10） ※収支率＝経常収益÷経常費用	補助制度や支援施策の推進	事業者からの提供データ	・64.0％（R6） →輸送人員は回復傾向にあるが、物価高騰等による費用の増加により、収支率の改善は小幅となっている。	・バス路線（市内完結路線）を維持するため、運行収支の赤字額に対し、補助金を交付した。 ・引き続き、各種施策の推進により利用促進を図り、収支率の改善に努める。	
市の補助金額 ・33,452 千円（R3）→33,500 千円（R10）		市実績等（市内完結路線）	・39,063千円（R6） →収支率は改善しているが、国の補助金額の減額や物価高騰等による費用の増加もあり、市の補助金額は増額となっている。		

第５章 目標達成のための施策及び事業

5.1 計画の目標

本計画は、利便性が高く誰もが利用しやすい、持続可能な地域の公共交通体系の構築、維持に向け、地域交通のマスタープランとして位置づけるものです。

本計画の達成状況を評価するための指標及び現状値、将来の目標値を以下に設定します。

基本方針１．持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上

（1）路線バス輸送人員

指標		現状値（2021(R3)実績値）	目標値（2028(R10)）	取得方法	実施期間	備考
路線バス輸送人員	市内路線	356 千人／年	520 千人／年	事業者からの提供データ	毎年	コロナ禍前(2019(R１))の実績値を目標とする。
	市外路線	2,637 千人／年	3,500 千人／年	事業者からの提供データ	毎年	コロナ禍前(2019(R１))の実績値を目標とする。

（2）バス路線数（系統数）

指標	現状値（2021(R3)実績値）	目標値（2028(R10)）	取得方法	実施期間	備考
バス路線数（系統数）	29 系統	29 系統	事業者からの提供データ	毎年	現状維持を目標とする。

基本方針２．誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

（1）交通環境に満足している市民割合

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
交通環境に満足している市民割合	57.2 %	69.0 %	市民アンケート調査	毎年	前計画の目標値を継続する。

（2）デマンド型交通の会員登録者数

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
デマンド型交通の会員登録者数	111 人	120 人	事業者からの提供データ (江北地区・豊幌地区の合計)	毎年	10%増を目標とする。

基本方針３．公共交通を支える市民意識の醸成

（1）啓発事業の実施回数

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
啓発事業の実施回数	1回	2回	市実績等 (出前講座・イベント参加等の回数)	毎年	コロナ禍前(2019(R1))の実績値を目標とする。

（2）広報紙等への掲載回数

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
広報紙等への掲載回数	1回	1回	市実績等	毎年	現行回数を目標とする。

基本方針４．公共交通を支える仕組みづくり

（1） 市補助路線の収支率

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
市補助路線の収支率	61.2 %	70.0 %	事業者からの提供データ	毎年	コロナ禍前(2019(R1)の実績値を目標とする。

※収支率＝経常収益÷経常費用

（2） 市の補助金額

指標	現状値 (2021(R3)実績値)	目標値 (2028(R10))	取得方法	実施期間	備考
市の補助金額	33,452 千円	33,500 千円	市実績等 (市内完結路線)	毎年	現状維持を目標とする。